

しよわとらべる

かわらばん

発行NO. 157. 2018. 12

SHOWA TRAVEL SERVICE

観光庁長官登録旅行業第 1312号

〒500-8703 岐阜市香蘭1-1

tel 058-255-3367 fax 058-255-3368

e-mail: travel@howa-con.co.jp



今月のトピックス★冬のイルミネーションスポットランキング／★クリスマスの食卓／★年末年始のご案内

イルミネーションスポット人気ランキング

1位：クリスマスマーケット in 横浜赤レンガ倉庫【横浜赤レンガ倉庫】

クリスマス準備を楽しむドイツの伝統行事「クリスマスマーケット」を再現。ヒュッテ（小屋）ではドイツフードなども販売しております。



恋キュンスポット

クリスマスマーケットの海側にあるモミの木前がオススメ。高さ約10mの本物のモミの木前にはカップルで鳴らすと幸せになるといわれている「幸せの鐘」があり、日没後のライトアップされた時間帯は、特に幻想的でロマンチックな雰囲気になります。

11/23(金・祝)～12/25(火) 11:00～21:00

2位：天空のクリスマス【六本木ヒルズ展望台 屋上スカイデッキ】



海拔270mにある都内で最も空に近い屋上スカイデッキ。360度広がるパノラマ夜景と光のコラボレーションを楽しむことができます。

恋キュンスポット

スカイデッキの日没前後。目前には太陽が落ちる瞬間の美しい夕焼け、後方には東京タワーと夜景が広がり、まさに宇宙の壮大なショーを見ているかのような雰囲気に。また、11月と2月にはダイヤモンド富士を見ることができ、ロマンチック。富士山に夕陽がかかった瞬間に二人の距離も一気に近づきそう。





クリスマスの食卓はなぜチキン？



クリスマスシーズンになると、スーパーの店頭やパンフレットにクリスマスパーティー用の食べ物が並びますが、なんとなく、「クリスマスはチキン」っていう認識がありますよね。クリスマス文化の本場、欧米諸国では、クリスマスのディナーといえば、食卓にのぼる定番料理は、七面鳥の丸焼きです。日本では七面鳥がなかなか手に入らないため、その代わりにチキンがメインとなっているようですが、ではなぜそもそも、クリスマスに七面鳥、なのでしょう？



その歴史は17世紀にまでさかのぼります。ヨーロッパからアメリカへ向かった移住民たちが、現地で飢えをしのぐために捕まえ食べたのが、七面鳥でした。そして、現地人であったインディアン（ネイティブアメリカン）からも七面鳥が与えられ、移住民たちは飢え死にせずに済んだ、という流れがあるようです。七面鳥は単なるごちそうではなく、アメリカ発の歴史ある縁起物だったというわけですね。

今や七面鳥は、アメリカ文化においては、縁起物として感謝祭やクリスマス、結婚式などお祝いの場には欠かせない食べ物となりました。

クリスマス自体が輸入の文化ですので、それに付随して、クリスマスには七面鳥や鶏肉を食べる認識が一緒に入ってきたのでしょう。さらにそれをケンタッキーフライドチキンがうまく広告に取り入れたことにより、日本でもなんとなく、「クリスマス＝チキン」といった認識が定着したようです。

ベネッセが2012年に実施したアンケートによると、実際、お子さまがいる8割以上のご家庭が、クリスマスにチキンや七面鳥を用意している、との結果がでたようです。



～年末年始の営内～

さあ皆様、今年2018年も師走に入り間もなく新しい年を迎えようとしておりますがいかがお過ごしでしょうか？1年あっという間だった方、長く感じられた皆様々だと思いますが、年末年始は皆様有意義にお過ごし頂きたいと思っております。気持ち良く本年の仕事を終えて、気持ち良く新しい2019年を迎えることができるよう来年もショーワトラベルが全力でお手伝いさせていただきます。

ショーワトラベルは12月29日(土)～1月6日(日)までお休みさせていただきます。時が経つのは本当に早いですね。本年もお世話になりました。新年は1月7日(月)からの営業になります。来年もご愛顧いただけますようお願い申し上げます。